

事務事業名	コード	4600	コミュニティバス等運行事業	予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	10	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	22	公共交通網の整備		根拠法令	道路運送法、道路法等									
施策の展開	41	公共交通の確保		戦略事業	196 コミュニティバス等運行事業									
施策の展開				戦略事業										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 11 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	1. コミュニティバス運行事業：自家用自動車運転できない方、高齢者や学生の方などに通院、通学、買い物や公共施設への移動などに利用してもらうために行っている。また、交通不便地域の交通手段を確保するため、コミュニティバス等多様な運行事業の実施・検討を行う。平成25年度はコミュニティバスのみの運行。ルート・系統数：4ルート・20系統 運賃：100円(但し、未就学児及び障がい者手帳提示の方は無料) 運行事業者：千葉交通株式会社(運行協定を締結して運行) 運行協定の中で運行経費から運賃収入、国庫補助(干潟地区ルートのみ)収入を差し引いた額を補助金として補填する。市が購入したバスを貸与。 2. 地域公共交通会議運営事務：コミュニティバスの補助金申請、事後評価、ルート変更等を諮るなど、市内の公共交通について協議する。 構成員：旭市、千葉県、地方運輸局、交通事業者、交通施設管理者等、地域住民代表者又は輸送サービスの事業者	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
利用者の減少により民間路線バスの減便や路線廃止が行われた。そのことから、高齢者等をはじめとした交通弱者の交通手段を確保するため、合併前の各市町によりコミュニティバスや通院バスを運行していた。	運行を開始してから10年が経ち、市内の人口移動が進む一方、今まで大きなルート変更を行ってこず、現在の実情に合った効果的なルートの再設定が課題である。また、少子化等により、通学等で恒常的に利用する者が減ったため、全体利用者数として減少傾向となっている。	現行ルート外の住民から新たなルートの要望・延伸、利用者からは運行回数の増加などの要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算) 単位:千円	
1. 需用費	39: 消耗品費
2. 使用料及び手数料	151: 土地借上り料
3. 備品購入費	0
4. 負担金補助及び交付金	47,123: 旭市コミュニティバス運行事業費補助金
5. その他	411: 費用弁償等
② 特定財源の内訳(29年度の決算) 単位:千円	
1. 国庫支出金	0
2. 都道府県支出金	0
3. 地方債	0
4. その他	312: 広告収入

事業費	1. 需用費	千円	381	13	377	39	395
	2. 使用料及び手数料	千円	151	151	151	151	152
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
事業費計(A)	3. 備品購入費	千円	43	17,105	12,524		19,558
	4. 負担金補助及び交付金	千円	45,787	45,584	46,187	47,123	47,116
一般財源	5. その他	千円	415	46	1,195	411	873
	事業費計(A)	千円	46,777	62,899	60,434	47,724	68,094
一般財源	4. その他	千円	476	10,492	12,820	312	18,392
	5. 一般財源	千円	46,301	52,407	47,614	47,412	49,702

前年度増減理由	コミュニティバスの車両更新がなかったため、事業費が減少した。
---------	--------------------------------

従事職員数	常時 1人	最大 2人	× 20日 = 延べ 40人
-------	-------	-------	----------------

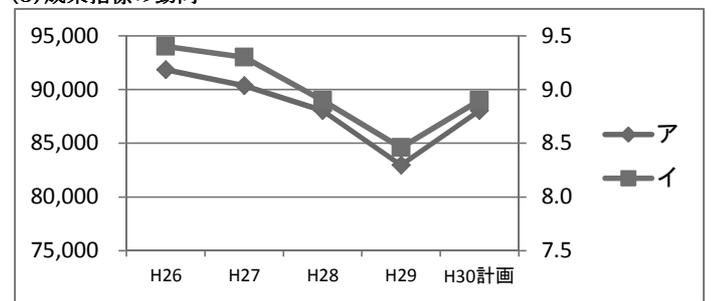
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動)		ア 1日当たりの便数(土・日曜日、祝日)	便	33(25)	33(25)	33(25)	33(25)	33(25)
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象意図 市民(主に交通弱者の方) 通院、通学、通勤、買い物、公共施設の利用等ができるようになることにより生活の活動域が広がる 対象意図		ア 年間利用者数	人	91,847	90,351	88,031	82,955	88,031
			イ コミュニティバス平日1便当たりの利用者数	人	9.4	9.3	8.9	8.5	8.9

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
大きい	①	①		(6)
普通		②		
小さい		③		
		④⑤		
		⑥		
		⑦⑧		
		⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項	時期 H30.4月～H31.3月 内容 地域公共交通再編実施計画の策定作業でコミュニティバスの運行経路、ダイヤ、運賃等を見直しを行う。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
比較	ア Δ13 イ Δ0.1
成果動向	25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画 ア Δ13 Δ1,496 Δ2,320 Δ5,076 5,076 イ Δ0.1 Δ0.1 Δ0.4 Δ0.4 0.4
コメント	(低下の場合、その理由) コミュニティバス利用者数については、少子高齢化による人口減少の影響もあり、全体で減少している。旭地区ルートで▲811人、海上地区で▲2,359人、飯岡地区で▲1,135人、干潟地区で▲771人減少し、全体としては年間利用者数が▲5,076人、平日1便当たりの利用者数は▲0.4人の減少となった。
コメント	(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)
コメント	(30年度に取り組む主な事項について記載) H30.4月～H31.3月 地域公共交通再編実施計画の策定作業でコミュニティバスの運行経路、ダイヤ、運賃等を見直しを行う。
コメント	H30.4月～10月 地域公共交通再編実施計画の策定に向け、具体的なコミュニティバスの運行内容(運行経路、運行回数等)について交通事業者と協議する。